

今回のインタビューは、3月27日付けで海田警察署長に就任された久文憲一さんにお願しました。久文署長には、就任に当たっての意気込み、地域の子供たちや住民の方々の安全に対する取り組みについて熱く語っていただきました。

聞き手／宮坂二郎 委員長



小学校自転車教室

海田警察署長就任に当たっての意気込みをお聞かせください。

最 近の治安情勢や、警察を取巻く諸情勢の厳しさを考えると、身の引き締まる思いがします。一方で、豊かな自然、文化に恵まれ、輝かしい伝統と歴史を有する

地域住民の方々の視点に立って

広島県海田警察署長

きゅうぶん けんいち
久文 憲一さん

地で勤務できることを大変光栄に思います。

昨年、安芸区で発生した女児殺害事件を受け、子どもの安全を守るための取り組みが拡がっていますが。

警 察としても、登下校時間帯の制服警官による通学路を中心とした警戒態勢を継続するとともに、不審者出没情報の早期把握を図り、情報ネットワークを拡大してタイムリーな情報の発信に努めていきます。

地域住民の安全を確保するための、今後の取り組みはどうですか。

私 たち警察職員は、県民の求めるところによる仕事を行っている、という原点を忘れてはいけません。地域住民の方々の視点に立つて、ど



うすれば皆さんが安心して暮らせるのか、常に警察活動の目的を考えながら皆さん方の要請にすばやく対応していきたいです。

具体的な対策としては。

交 番相談員の増員配置によつて空き交番の解消を図り、交番勤務員のパトロ

ール活動を強化していきます。事件や事故の発生については、パトカーの緊急走行での現場への早期臨場と事件の検挙に努めていくとともに、街頭での取締り活動を強化します。

警察と住民が一体となつて、防犯活動に取り組むことが重要になっていきます。

地 域住民の方々の安全、安心を確保するためには、警察だけではなく、地域ぐるみでの活動が必要です。そのため、自治体をはじめ防犯、交通の関係団体などの連携を強化するとともに、地域の住民の方々のご理解とご協力をいただき、各種イベントやキャンペーンを積極的に展開していきたいですね。

安全で住みよい町づくりは町民の願いですからね。議会としても今まで以上の協力をしていきます。本日はお忙しいところ本当にありがとうございました。